

新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金の活用について

令和3年度の新型コロナウイルス感染症あかし支え合い寄附金については、2,955件、7,033万1千円と多くの皆さまからご支援をいただきました。

寄附金については、全額をいったん基金に積み立て、新型コロナウイルス感染症対策のため、基金から9千万円を取り崩し、以下のとおり活用したことを報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

区分		金額(円)
① 令和2年度末 基金残高		61,304,893
② 令和3年度受入額	ふるさと納税としての寄附 2,927件	66,138,000
	支え合い寄附金(通常分) 28件	4,193,000
	合計 2,955件	70,331,000
③ 令和3年度基金取崩額(事業活用)		90,000,000
令和3年度末 基金残高 ①+②-③		41,635,893

2. 基金の活用用途

以下のとおり、令和3年度の新型コロナウイルス感染症対策事業に基金を活用しました。
(単位：千円)

活用用途	主な基金の活用事業	事業費 (一般財源)	活用額
1 医療体制の充実	新型コロナウイルス感染症対策事業 救急高度化事業(感染者搬送資機材の充実)など	609,848 (61,976)	20,000
2 市民生活の支援	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 介護・障害福祉サービス等支援事業など	5,493,489 (263,011)	30,000
3 感染拡大の防止	新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業 法定予防接種事業(高齢者インフルエンザ)など	3,803,141 (313,533)	30,000
4 その他	こども夢応援プロジェクト事業 学校情報通信機器運用事業(タブレット端末配備)など	486,894 (108,342)	10,000
合計		10,393,372 (746,862)	90,000

3. その他

令和3年度末基金残高の約4千2百万円は、令和4年度中の寄附金を基金に積み立てた上で、令和4年度以降の新型コロナウイルス感染症対策事業に活用いたします。